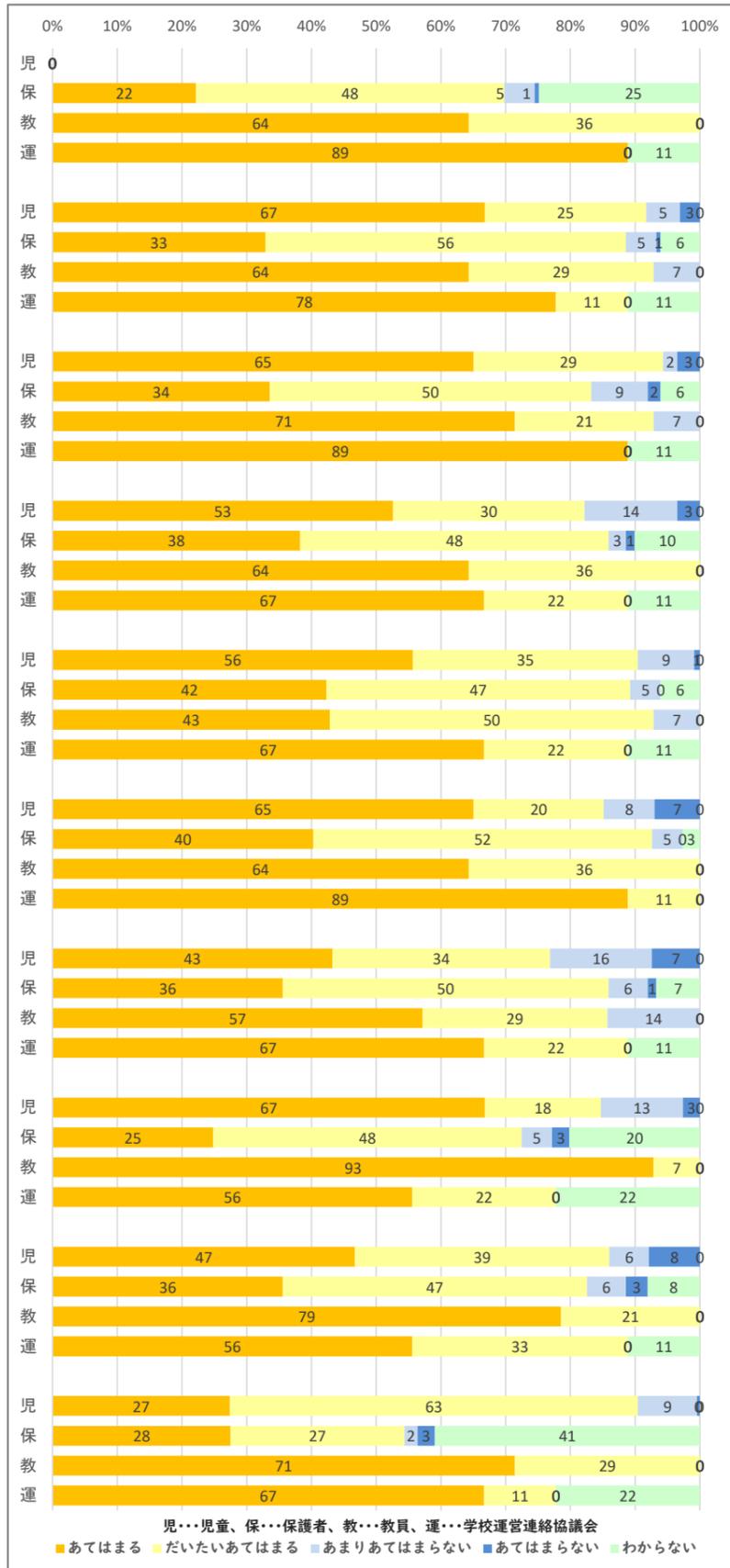


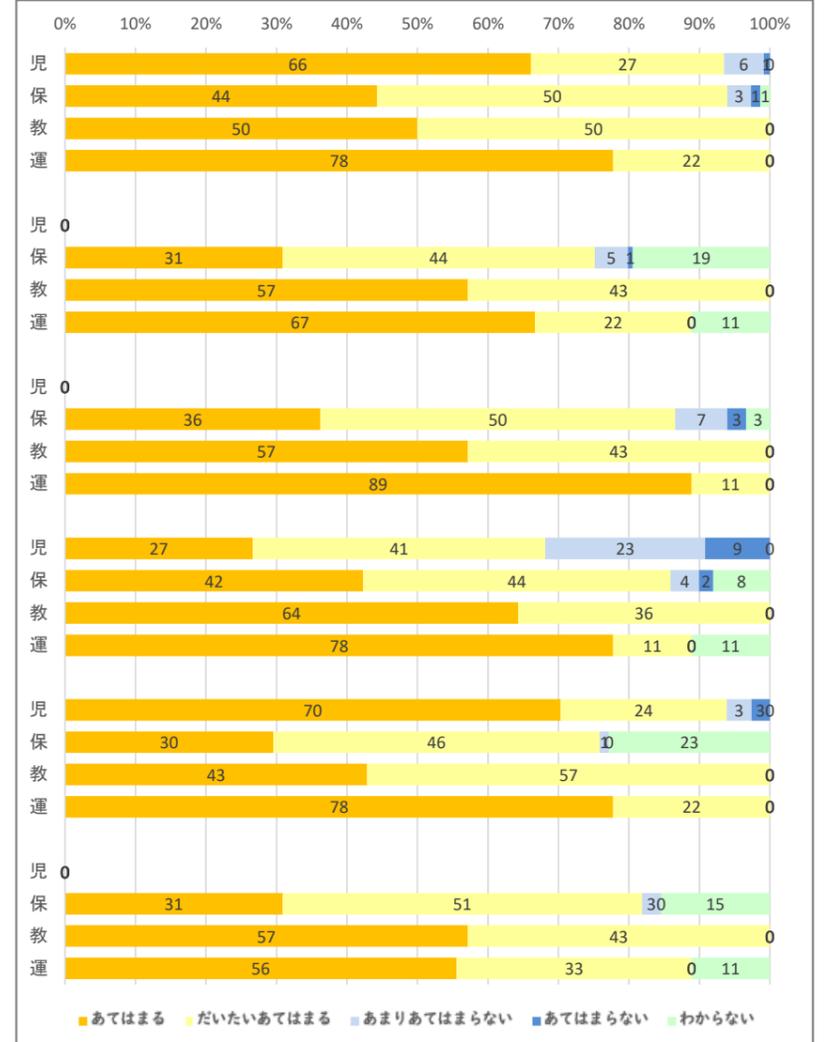
令和7年度年間『学校評価アンケート』集計結果

1	就学前から小学校・中学校への円滑な接続	学校は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしている。
2	確かな学力の育成	学校は、子どもの学力の定着・向上のために、分かりやすい授業を行っている。
3		学校は、ICT機器やタブレット端末等の活用により、分かりやすい授業の実施や子どもの学びの意欲の向上に取り組んでいる。
4	豊かな心の育成	学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動をととして、互いの良さを尊重し合う温かい学校づくりを推進している。
5		学校は、生命を大切にす態度や思いやり、優しい心を育てている。
6	健やかな体の育成	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に、積極的に取り組んでいる。
7		学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に取り組んでいる。
8	一人一人を大切にす教育の推進	学校は、いじめ防止等(未然防止、早期発見、早期対応)に学校全体で組織的に対応している。
9		学校は、子ども達の気持ちを理解するために、一人一人に寄り添いながら、指導を行っている。
10		学校は、特別支援教育や発達障害等に関して、一人一人に適切な指導を行っている。



11	教師力の向上と魅力ある学校づくり	学校は秩序があり、子ども達は落ち着いて学校生活を送っている。
12		学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。
13	家庭・地域との連携	学校は、学校や子ども達の様子を、学校だよりやホームページ、学校公開等によって、分かりやすく伝えている。
14		学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している。
15		学校は、コミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育む体制を構築している。
16	特色ある教育活動	学校は、安全・安心な学校づくり(ISS)や体育・健康への取り組みに関する教育を推進している。

*1・12・13・16についての児童へのアンケートは実施なし



第3回「コミュニティスクール学校運営協議会」学校評価(年間報告)概要

- 項目1【保・幼・小・中の連携】**
・幼稚園や保育園と次年度計画を作成し、連携や交流を推進していることが分かった。学校HPで取組の内容をより積極的に知らせてほしい。
- 項目2～3【学びに向かう力】**
・いつも落ち着いて学習している。読み書きをベースに低学年からICTを活用して「わかる・できる授業づくり」が行われている。継続が大切である。
- 項目4～5【豊かな心】**
・今後も「仰高ピオトープ」を活用した授業づくりや「人権の花運動」などを通して、動植物の命を身近に感じる機会を増やしてほしい。
- 項目6～7【健やかな体】**
・持久走や縄跳び運動などで体力づくりの意欲が向上している。学校HPなどを活用して、給食の様子や食育指導を積極的に知らせてほしい。
- 項目8～10【一人一人を大切にす教育】**
・個人面談を年2回にしたことで、学校と家庭の間で児童理解が深まった。保護者が学校以外にも気軽に相談できるよう、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)や民生委員・主任児童委員などの情報提供や発信も増やしていきたい。
- 項目11～12【教師力の向上と魅力ある学校づくり】**
・「仰高スタンダード(学習)」や「仰高の子ども(生活)」を基盤として、ユニバーサルデザインの授業づくりや安全・安心な学校づくりを行い、チームで児童を育てようとしている様子が分かった。個別の支援や対応も丁寧に行っているの、引き続きお願いしたい。
- 項目13～15【家庭・地域との連携】**
・保護者がコミュニティ・スクールの意義や活動について知る機会を作り、地域コーディネーターの選任や組織づくりを早急に進めていく必要がある。
- 項目16【特色ある教育活動】**
・TSS(としまセーフスクール)で引き継いだ安全・安心な学校づくりの意識が定着している。PTAの地域パトロールも地域の安全・安心に貢献している。今後は、国際理解や多文化共生の基盤づくりを特色としていく方針である。次年度は学校評価の項目も変えていく。